

授業概要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) 薬学		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 菅 瑞季	
授業の回数 80回	時間数 (単位数) 120時間 (8単位)	配当学年・時期 1年・通年		必修・選択 必須	
実務経験 <u>あり</u> なし 登録販売者の経験を通して、医薬品に共通する特性と基本的な知識を教授する。					
[授業の目的・ねらい] ○薬学の知識を修得し、薬学検定3級の合格を目指します。					
[授業全体の内容の概要] ○標準的なレベルの薬学知識について講義します。					
[授業終了時の達成課題 (到達目標)] ○一般用医薬品・医薬部外品・サプリメント・特定保健用食品について、有効成分の作用・効果(効能)・副作用・使用上の注意を理解している。 ○医療用語を理解している。 ○生活習慣病等の疾患について理解している。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
第1～2回 薬学概論			第34回 小テスト・復習		
第3回 小テスト・復習			第35回 かぜ薬		
第4回 薬の服用方法			第36～37回 胃腸薬①		
第5回 薬の形			第38回 胃腸薬②		
第6～7回 薬の副作用			第39回 目薬		
第8回 小テスト・復習			第40回 小テスト・復習		
第9回 女性, 子供, お年寄りと薬			第41回 乗物酔い止め薬		
第10～11回 相互作用			第42～43回 肩こり・腰痛・筋肉痛の薬		
第12～13回 生活習慣病の基礎知識			第44回 外用皮膚炎薬		
第14～15回 持病のある人と大衆薬			第45回 小テスト・復習		
第16回 小テスト・復習			第46回 下痢止め薬		
第17～19回 栄養素			第47回 整腸薬		
第20～21回 保健機能食品			第48～49回 定期試験・復習		
第22～23回 サプリメント			第50回 便秘治療薬		
第24回 アレルギー			第51回 水虫治療薬		
第25回 小テスト・復習			第52回 痔治療薬		
第26回 予備			第53回 小テスト・復習		
第27～28回 薬学総論テスト・復習			第54回 予備		
第29～30回 解熱鎮痛薬			第55回 お薬各論テスト・復習		
第31～32回 鎮咳去痰薬			第56～60回 公式テキストABC		
第33回 鼻炎用薬			第61～80回 薬学検定試験対策		
[使用テキスト・参考文献] ①『薬学検定試験対策&過去問3級4級』 一ツ橋書店			[単位認定の方法及び基準] 1 4/5以上の授業に参加していることで、科目試験を受験することができる。 2 科目試験(100点)で評価。		

授業概要

(くすり総合学科)

授業のタイトル (科目名) キャリア実践Ⅱ		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 池田大空	
授業の回数 30回	時間数 (単位数) 45時間 (3単位)	配当学年・時期 2年・通年		必修・選択 必須	
実務経験 (あり) なし 登録販売者の経験を通して、医薬品に共通する特性と基本的な知識を教授する。					
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が目標とする登録販売者へのキャリアプランを設計し、実現に向けて行動していきます。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1 on 1 ○自己理解・将来設計 ○実習フィードバック <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリアプランを設計し、実現に向けて行動できる。 					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]					
第1～30回		1 on 1			
第1～2回		自己分析			
第3回		実習レポート			
第4～5回		実習フィードバック			
第6～8回		学生1 on 1			
第9回		実習レポート			
第11～12回		実習フィードバック			
第14～16回		学生1 on 1			
第17回		実習レポート			
第18～19回		実習フィードバック			
第20～22回		学生1 on 1			
第23回		実習レポート			
第24～25回		実習フィードバック			
第26～30回		学生1 on 1			
[使用テキスト・参考文献] なし			[単位認定の方法及び基準] ①4/5以上の授業に参加していることで、科目試験を受験することができる。 ②科目試験(課題)(100点)と出席日数で評価する		